

ひなたイノベーションハブについて



宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構

ひなたイノベーションハブの設置と役割

宮崎県産業イノベーションプラットフォームの協力のもと、宮崎大学は、令和7年4月に錦本町ひなたキャンパス2階に、企業が大学・高専と連携するための相談支援拠点「ひなたイノベーションハブ」（以下「ハブ」という。）を設置し、コーディネーターを配置した。

ハブは、宮崎大学で培ってきた産学官連携の機能とノウハウを生かした次の3つの役割を担う。
① 県内の大学・高専10校から研究シーズを収集。② 研究シーズを企業等に情報発信し、企業と大学・高専との共同研究等をマッチング。③ マッチング後に、企業が新技術や事業創出等を目指していきながら、研究シーズの社会実装を目指す大学・高専への伴走支援。



- ・コーディネーターが常駐
- ・企業等からの相談対応（事前予約）
- ・各専門コーディネーターとの連携
- ・県内大学・高専の研究シーズの収集等

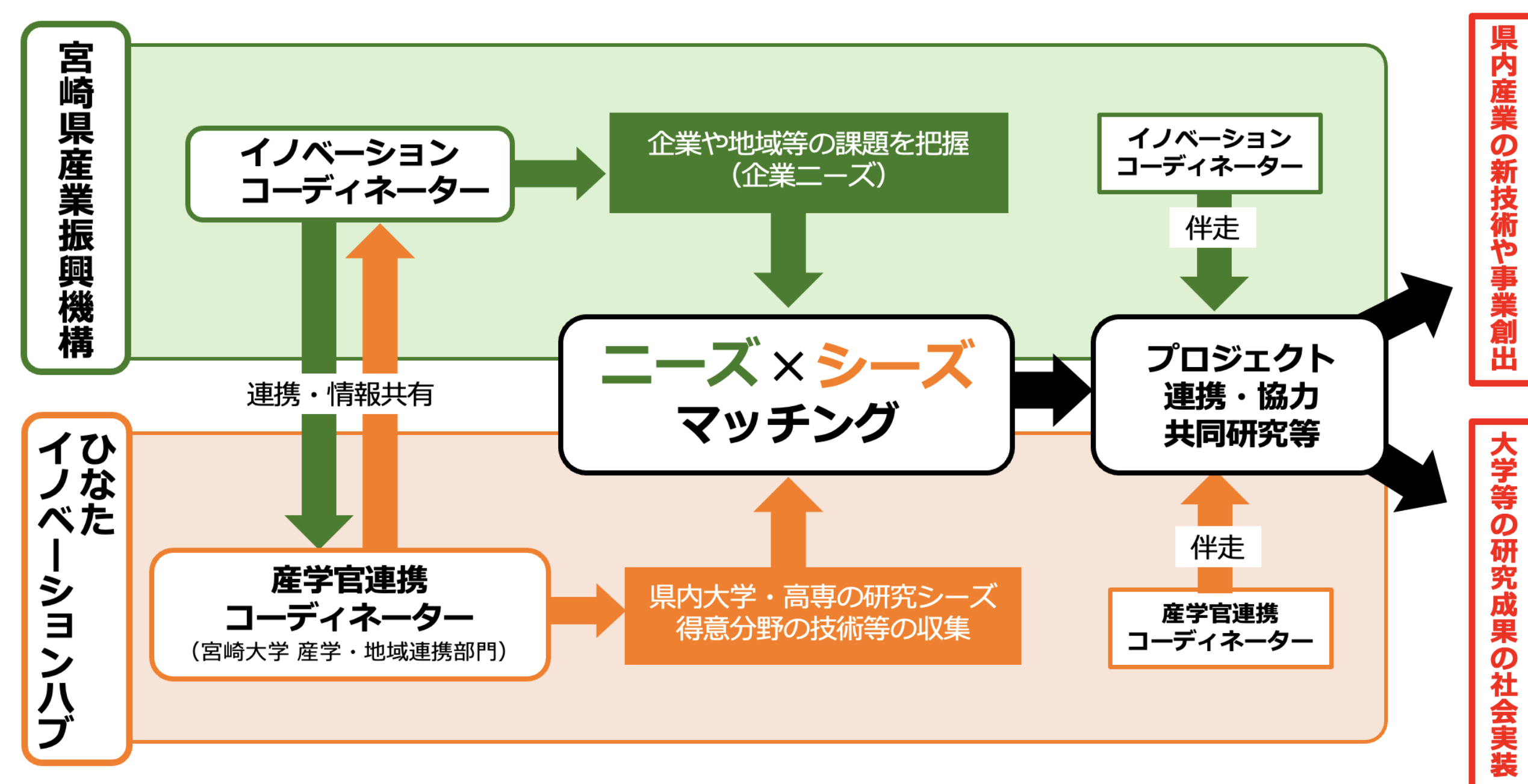
＜ひなたイノベーションハブ（錦本町ひなたキャンパス2階）＞

宮崎県産業イノベーションプラットフォーム

【事務局：宮崎県企業振興課】

幹事会:23機関（うち大学・高専10校）

宮崎県	宮崎県産業振興機構	宮崎県工業会	宮崎県商工会議所連合会	宮崎県中小企業団体中央会	JAみやざき	宮崎銀行	宮崎太陽銀行	宮崎県信用金庫協会	宮崎大学	宮崎産業経営大学	連合宮崎	宮崎県情報産業協会	宮崎県立看護大学	宮崎公立大学	南九州大学	宮崎国際大学	九州医療科学大学	九州国際大学	宮崎学園短期大学	都城工業高等専門学校
-----	-----------	--------	-------------	--------------	--------	------	--------	-----------	------	----------	------	-----------	----------	--------	-------	--------	----------	--------	----------	------------



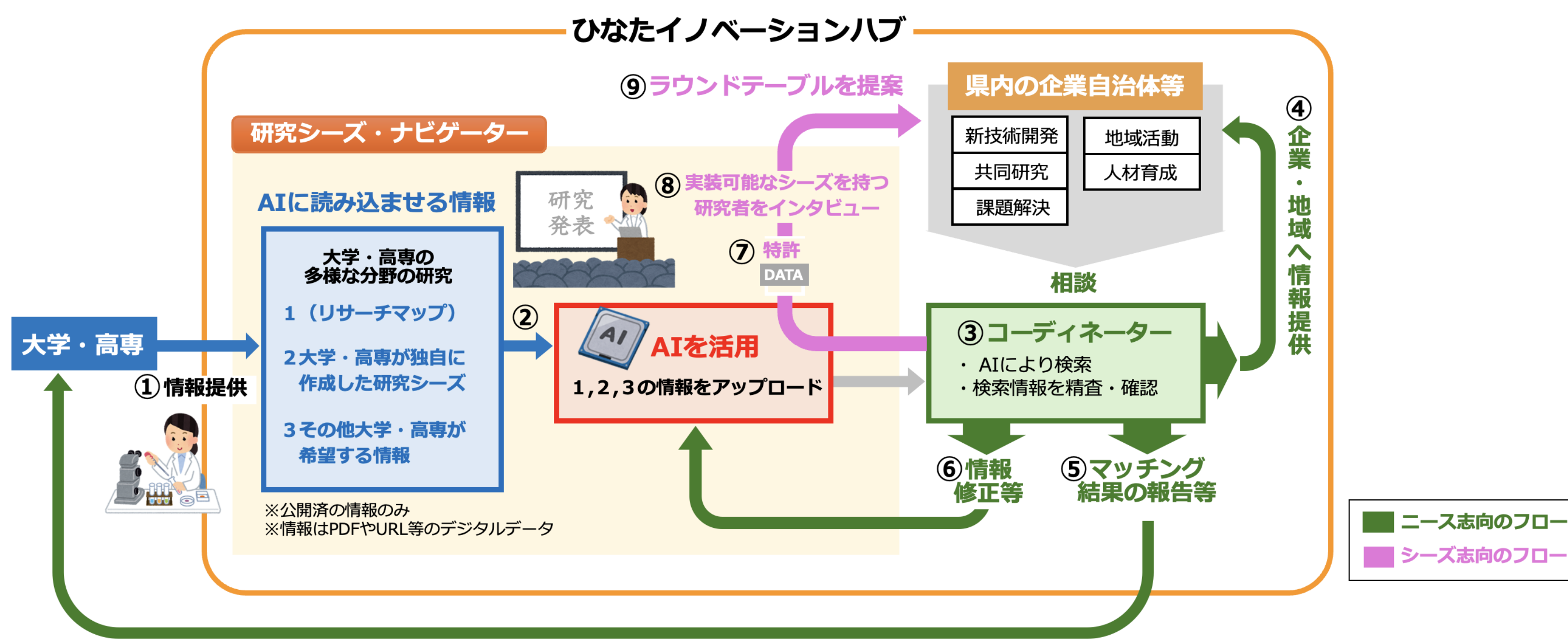
＜宮崎県産業イノベーションプラットフォームにおけるひなたイノベーションハブの役割＞

AIを導入した大学・高専の研究シーズの収集とコーディネーターによる活用

大学・高専の多様な研究シーズを収集し、様々な企業等の課題に対応して、多角的かつ深く大学・高専の研究シーズの検索・案内を可能にするため、ハブにAI※を導入する。※：導入するAI「NotebookLM」（Google社製）は、秘匿性が高くユーザーが提供する情報のみを学習することから、ハルシネーションが少ないとされている。



＜多様な学部・学科を持つ宮崎県内の大学・高専＞



＜AIを導入した研究シーズの収集と活用＞

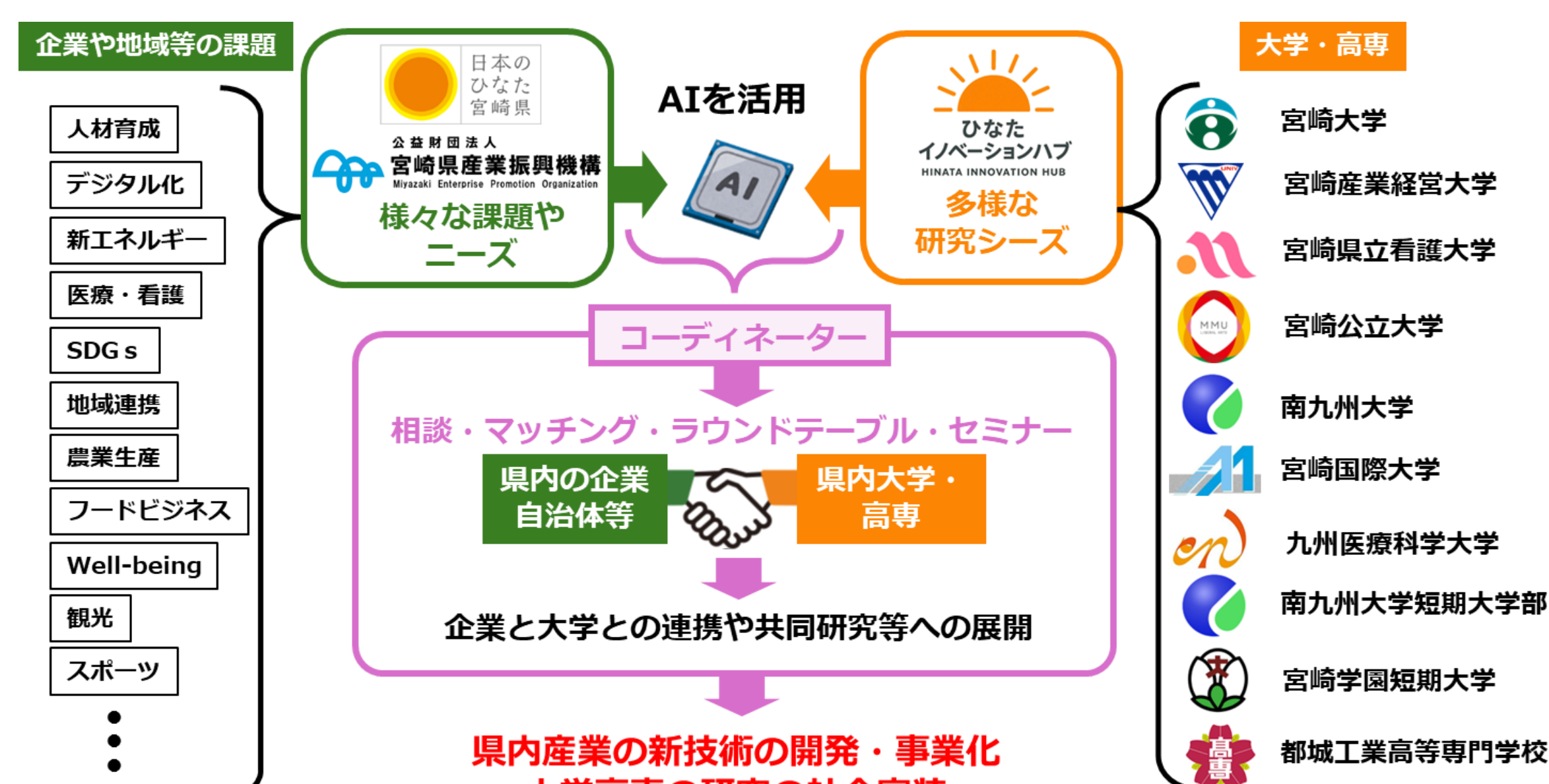
ハブでは、大学・高専の公開済研究シーズをAIに学習させ、コーディネーターは、AIを活用して次の取組みを行う。

- ① 企業等の相談内容に適した研究シーズのマッチング（ニーズ志向）
- ② 研究シーズをテーマにしたラウンドテーブル等の開催（シーズ志向）

目指す取組み

課題を抱える企業等に対する研究シーズのマッチング、大学・高専が保有する即実装可能な研究シーズを企業にアピールする産学の交流の場の提供をしていく。

プラットフォームの機関と連携し、ハブにおいて多くのマッチングや交流の場から共同研究等へと発展させることで、県内企業の新技術開発や事業創出と、大学・高専の研究シーズの社会実装を図って行くよう取り組んでいく。



＜目指す取組みイメージ＞



【ひなたイノベーションハブ 連絡先】

〒880-0818 宮崎市錦本町4-5 錦本町ひなたキャンパス2階

TEL：080-2107-2761 ☎：innovationhub@miyazaki-u.ac.jp

対応時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00（土日祝日等を除く）

（担当窓口）

宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構 産学・地域連携課

宮崎県産業振興機構 新事業支援課



申し込みフォーム



錦本町ひなたキャンパス